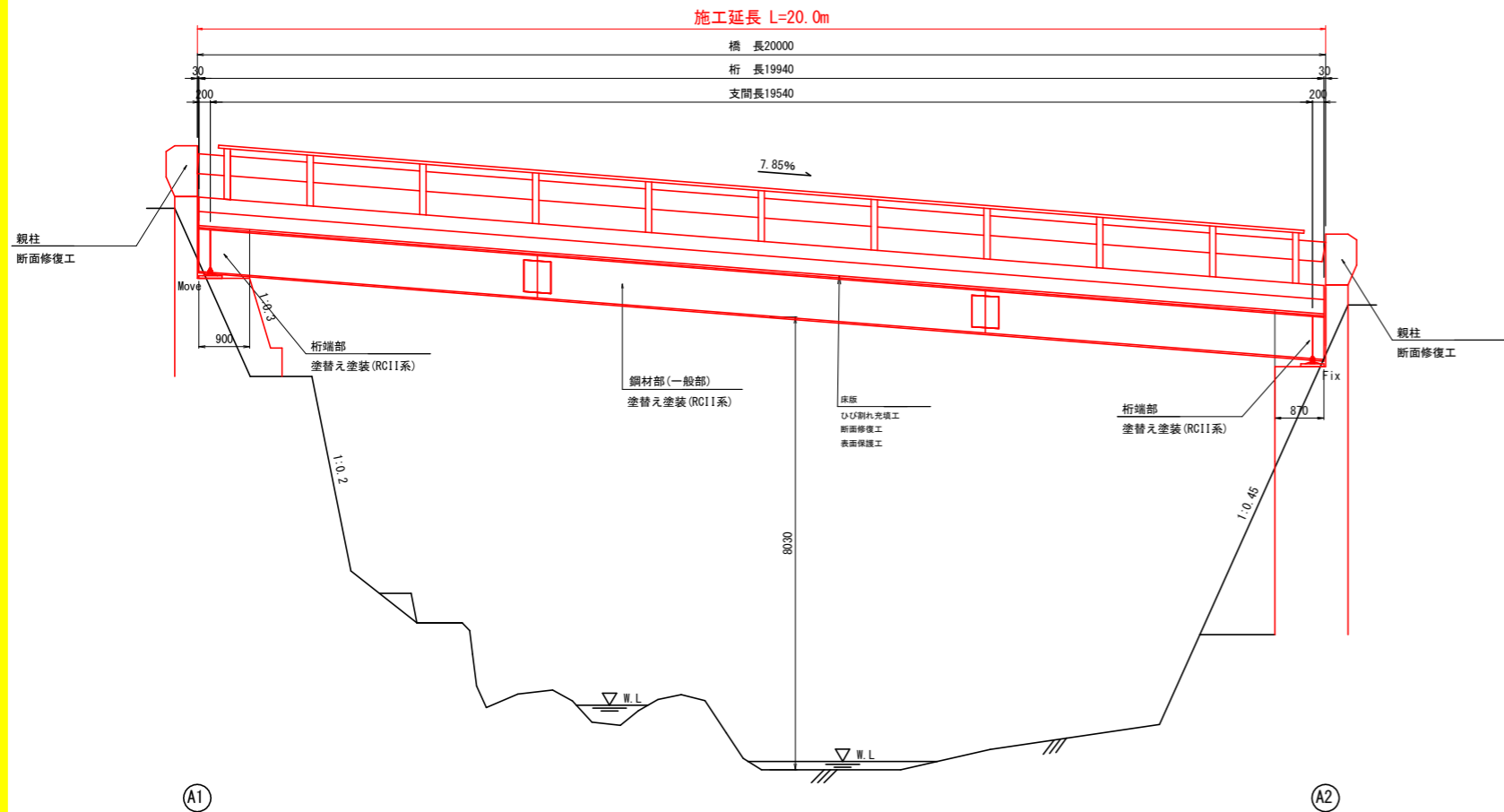
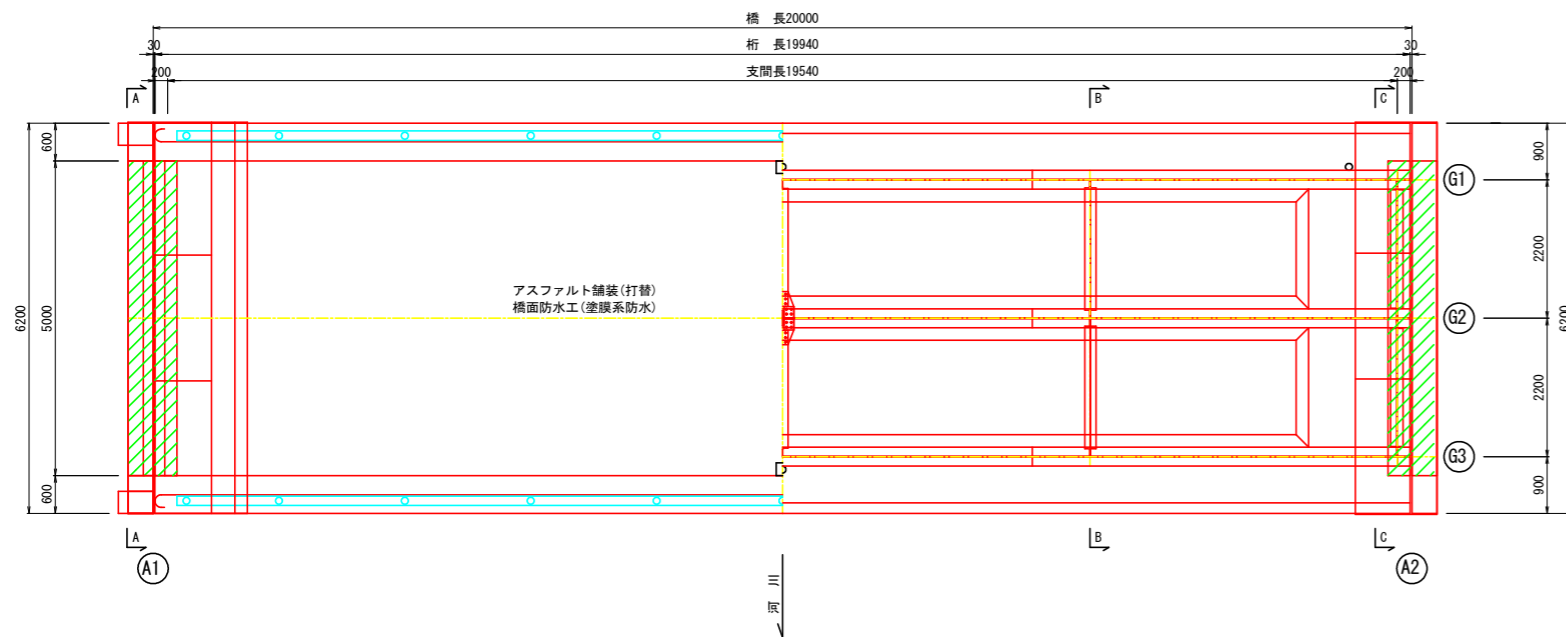


桃藪橋 補修一般図

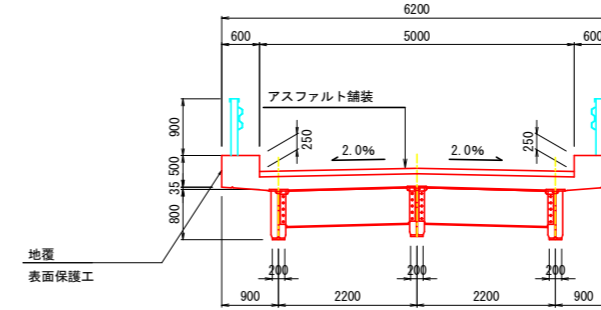
側面図 S=1:60



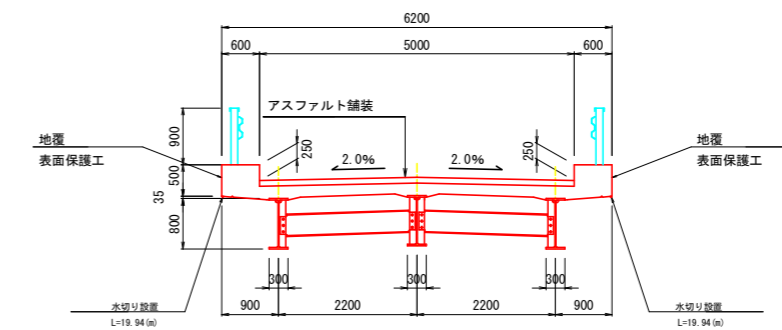
平面図 S=1:60



A-A S=1:60



B-B S=1:60



橋梁諸元	
橋梁名	桃藪橋
構造形式	鋼溶接橋 H形鋼(合成)
架設年	1985年11月
適用示方書	昭和55年
橋長	L=20.0 m
有効幅員	W= 5.0 m
橋梁番号	7063
路線(等級)	中野木屋平線
対応区分	予防維持管理対応
交差物件	準用河川: 桃藪谷川
塗装歴	-

補修工法

部材	工法	細目
床版下面	断面修復	鉄筋非露出部(左官工法:ポリマーセメントモルタル)
	断面修復	鉄筋露出部(左官工法:ポリマーセメントモルタル)
	表面保護工	ケイ酸塩系表面含浸材
鋼材部	塗替え塗装	RC-11塗装系(素地調整:2種ケレン)
	橋面防水工(車道)	塗膜系防水 排水管設置工
橋面	舗装打替工(車道)	舗装打替工(アスファルト舗装)
	水切り設置工	水切り設置工(プラスチック面木等)
	伸縮装置設置	伸縮装置設置工
地覆・親柱	ひび割れ充填(1.0mm≦t)	ポリマーセメントモルタル(遊離石灰)
	断面修復	鉄筋露出部(左官工法:ポリマーセメントモルタル)
	表面保護工	ケイ酸塩系表面含浸材
支承	塗替え塗装	RC-11塗装系(素地調整:2種ケレン)
	防護柵(ビーム取付)	経過観察
その他	防塵柵(ビーム取付)	経過観察
	土砂詰まり・土砂堆積	現場対応: 図示のみ

当初設計図面

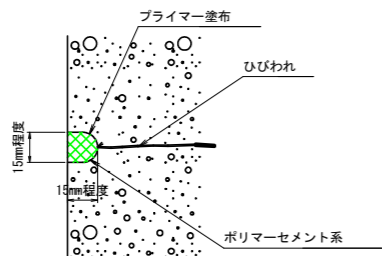
工事名	06馬土 中野木屋平線(桃藪橋) 美・木屋平太合 橋梁補修工事(図) (手続型)		
路線名等	(一) 中野木屋平線 (桃藪橋)		
工事箇所	美馬市木屋平太合		
図面名	補修一般図		
縮尺	1:60	図面番号	1 / 15
会社名			
事業者名	西部総合県民局長県土整備部<美馬>		

注) 構造図等は、メジャー等を使った簡易計測結果を元に作成した。

桃薮橋 補修標準図(1)

ひびわれ補修工

[ひびわれ充填工法]



※ 施工手順

- 1 ひびわれに沿ってUカット
- ↓
- 2 Uカット部清掃
- ↓
- 3 プライマー塗布
- ↓
- 4 充填材、充填
- ↓
- 5 養生

※ 注記

1. Uカットするひびわれは、幅1.0mm以上とする。
2. 施工前にUカットするひびわれを再確認する。
3. Uカット深さは15mm程度とする。
4. 充填材は、ポリマーセメント系とする。
5. 施工後、硬化するまで養生を行う。

ひびわれ充填材の性能例

項目	材料の種類	
	土木補修用充填材 ポリマーセメント系	土木補修用充填材 シーラント系(シーリング)
ひびわれ進行区分	※1 B	A, B
ひびわれ幅(mm)	1.0 ≤ t	
粘度 (mPa・s)	10000以下	ダレを認めず
可使用時間 (分)	30以上	240以上
硬化時間 (時間)	16以内	24以内
硬化収縮 (%)	0.1以下	—
伸び率 (%)	—	800以上
モルタル付着強さ(乾燥面) (N/mm2)	6以上	たわみ量10mm 以上で破壊すること
付着力耐久性保持率 (%)	※3 60以上	60以上

※1: A=ひびわれが進行している。 B=ひびわれの進行が止まった。

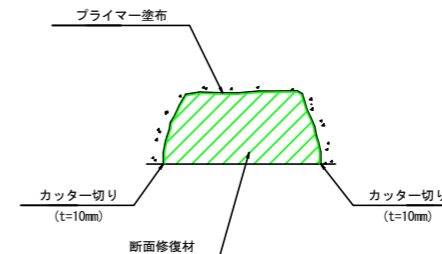
※2: チキソトロピック係数 2rpm/20rpmの粘度で表す。

※3: 規格に対する百分率。

断面修復工

[断面補修材: ポリマーセメントモルタル・左官工法]

(鉄筋露出以外の場合)



※ 施工手順

- 1 カッター切断
- ↓
- 2 コンクリート研り
- ↓
- 3 下地処理
- ↓
- 4 プライマー塗布
- ↓
- 5 断面修復材こて塗り

※ 注記

1. 劣化、不良コンクリートの研りは、健全部に損傷を与えないよう周囲に深さ1cm程度コンクリートカッターにより切断目地を入れ、入念に施工する。(研り深さは5cmを想定している。)
2. 使用材料
断面修復材
無収縮ポリマーセメントモルタルとし、「表面保護工法 設計施工指針(案) [工法別マニュアル編]平成17年土木学会」に示す断面修復材の規格を満足するものとする。

補修材の要求性能

(この要求性能を参考として、同等品と認められる材料を選定するものとする)

ポリマーセメントモルタルの性能例

施工方法	左官			吹付け	充てん
	普通	軽量	速硬	普通	普通
硬化性	普通	軽量	速硬	普通	普通
軽量性	普通	軽量	速硬	普通	普通
単位容積質量 (kg/l)	1.8~2.2	1.3~1.6	1.8~2.1	1.5~2.2	2.1~2.2
フロー	120~160	110~150	120~160	140~250	~300
硬化時間 (h)	3~8	3~10	0.5~2	3~8	4~15
圧縮強度 (N/mm2)	材齢 3h	—	—	3~15	—
	材齢 1d	5~25	3~25	10~30	5~15
	材齢 7d	20~40	5~30	20~40	20~40
付着強度 (N/mm2)	材齢 28d	25~60	10~35	25~40	30~60
	標準	1.8~3.4	1.8~2.6	2.0~2.8	2.0~3.5
弾性係数 (kN/mm2)	16~21	12~15	13~21	14~21	17~21
引張強度 (N/mm2)	3~6				
収縮率 (×10-6)	200~1000				
熱膨張率 (×10-6/°C)	8~17	9~13	10~15	9~17	—

出典: 「表面保護工法 設計施工指針(案) [工種別マニュアル編]: 土木学会」 P.202

力学的性能	
要求性能	設計及び施工条件
圧縮強度	躯体コンクリートと同等な強度特性を有すること
付着強度	躯体コンクリートと一体となること (1.0N/mm2以上)

鉄筋コンクリート補修用防錆剤の品質基準

項目	基準値	
耐アルカリ性	塗膜に異常が認められないこと	
鉄筋に対する付着強さ (N/mm2)	7.8以上	
防せい性	処理部	防せい率: 50%以上
	未処理部	防せい率: -10%以上※

※: 未処理部の防せい率は、防せい材で処理することによって、マクロセルを形成し、基材部の鉄筋腐食を促進するようなものであってはならず、比較用モルタルの発せい率とほぼ同等以下とし、発せい率で+10%以下(=防せい率で-10%以上)とした。

出典: 「ひびわれ調査、補修・補強指針: 日本コンクリート工学協会」 P.132

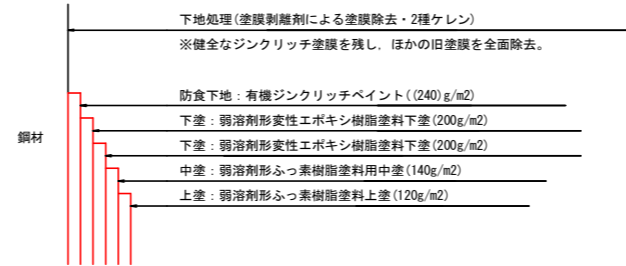
当初設計図面

工事名	06馬土 中野木屋平線(桃薮橋) 美・木屋平太台 橋梁補修工事(図1)手続保証		
路線名等	(一) 中野木屋平線 (桃薮橋)		
工事箇所	美馬市木屋平太台		
図面名	補修標準図(1)		
縮尺	図示	図面番号	2 / 15
会社名			
事業者名	西部総合県民局長県土整備部<美馬>		

桃藪橋 補修標準図(2)

塗装塗替工

[Rc-II塗装系]



※ 施工手順

- 1 下地処理1: 塗膜剥離剤による塗膜除去
↓
- 2 下地処理2: 塗膜除去後2種ケレン
↓
- 3 下塗り: (1) 有機ジンクリッチペイント ((240)g/m2)
(2) 弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗 (200g/m2)
(3) 弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗 (200g/m2)
↓
- 4 中塗り: 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 (140g/m2)
↓
- 5 上塗り: 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 (120g/m2)
↓
- 6 養生

※ 注記

1. 下塗材の標準使用量は、下地の状態により増減する。
2. POBの含有が確認されているため2種ケレンとする。
3. 使用材料
・下塗材 - 有機ジンクリッチペイント/弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料
・中塗材 - 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料
・上塗材 - 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料
4. (社)日本道路協会鋼道橋塗装・防食便覧 平成26年度3月版に準拠する。
5. 下地処理については、環境対策設備を設置して行うこと。

当初設計図面

工事名	R6馬土 中野木屋平線(桃藪橋) 美・木屋平太合 橋梁補修工事(図1手続保証)		
路線名等	(一) 中野木屋平線 (桃藪橋)		
工事箇所	美馬市木屋平太合		
図面名	補修標準図(2)		
縮尺	図示	図面番号	3 / 15
会社名			
事業者名	西部総合県民局長県土整備部<美馬>		

桃藪橋 補修詳細図(2)

[床版・排水管]

-凡例-(鋼部材)

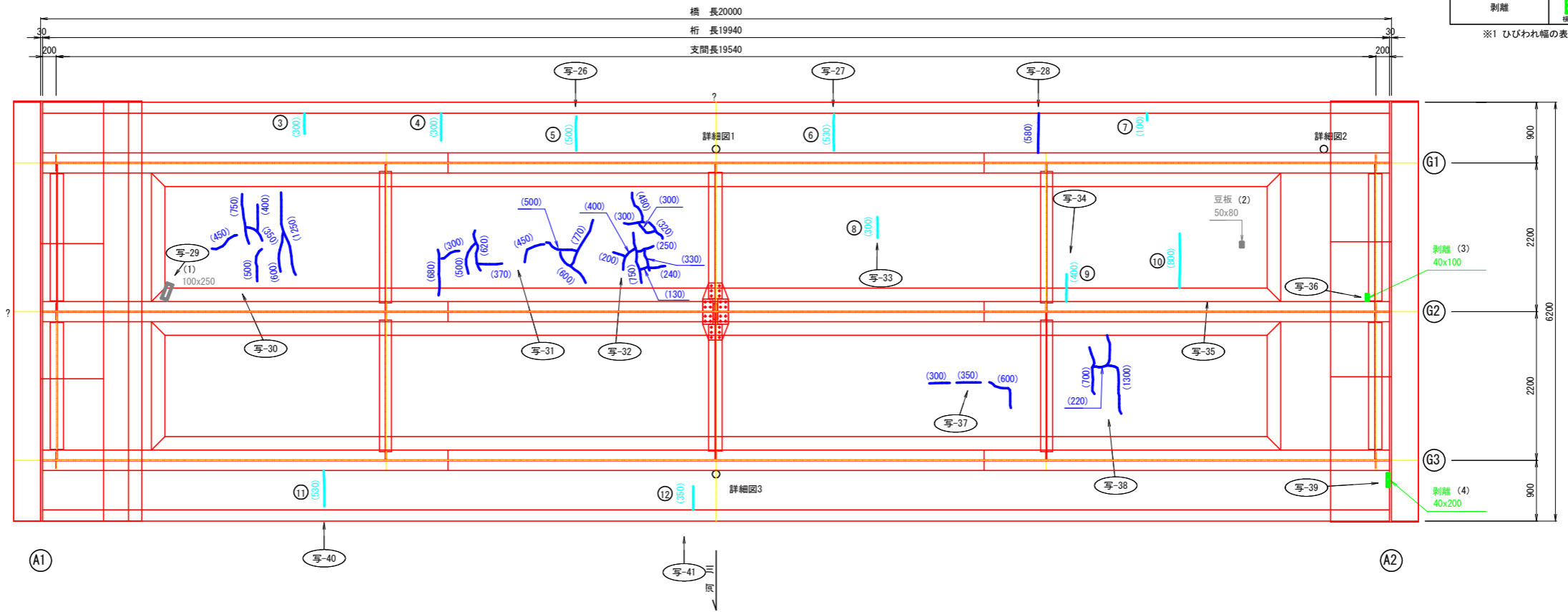
	幅(mm)×長さ(mm)	腐食による板厚減少
		防食機能の劣化は防食皮膜の劣化

-凡例-(コンクリート部材)

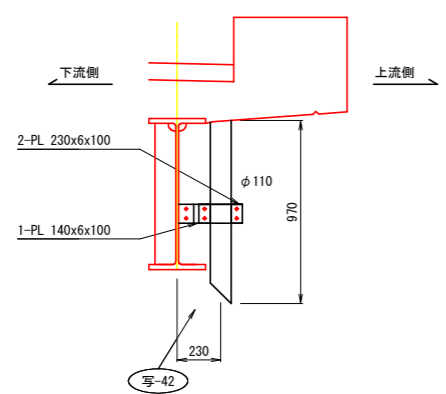
舗装ひびわれ		鉄筋露出	
ひびわれ (0.2mmより大きい)		遊離石灰	
ひびわれ (0.2mm以下)		豆板	
うき		漏水・漏水跡	
剥離		その他	

※1 ひびわれ幅の表記なき場合は5.0mm未満とする。

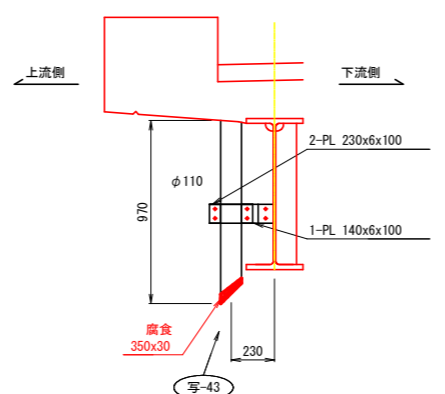
桁下平面図 S=1:40



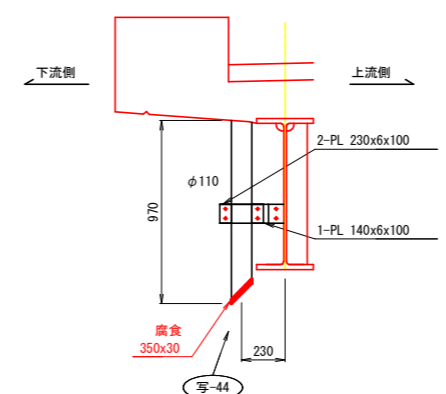
詳細図1 S=1:20



詳細図2 S=1:20



詳細図3 S=1:20



※排水管全体に防食機能の劣化あり

注) 構造図等は、メジャー等を使った簡易計測結果を元に作成した。

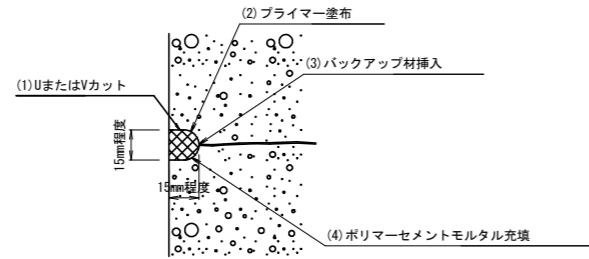
当初設計図面

工事名	06馬土 中野木屋平線(桃藪橋) 美・木屋平太台 橋梁補修工事(図) (手続保留)		
路線名等	(一) 中野木屋平線 (桃藪橋)		
工事箇所	美馬市木屋平太台		
図面名	補修詳細図(2) 床版・排水管		
縮尺	図示	図面番号	5 / 15
会社名			
事業者名	西部総合県民局長県土整備部<美馬>		

桃藪橋 補修詳細図(3)

ひび割れ充填工要領図

[ポリマーセメントモルタル充填工法 1.0mm≦t]



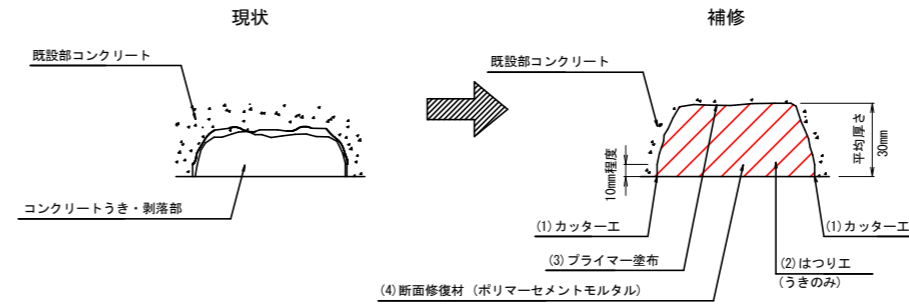
○ ひびわれ充填工(遊離石灰)数量表

番号	位置	長さ(m)	幅(mm)
1	地覆	0.25	
2	"	0.45	
3	床版	0.30	
4	"	0.30	
5	"	0.50	
6	"	0.53	
7	"	0.10	
8	"	0.30	
9	"	0.40	
10	"	0.80	
11	"	0.53	
12	"	0.35	
合計		4.81	

断面修復工要領図

[ポリマーセメントモルタル]

(鉄筋非露出)



() 断面修復(鉄筋非露出) 数量計算表

番号	長さ(m)	幅(m)	奥行き	面積	体積	備考	部位
(1)	0.10	0.25	0.03	0.025	0.0008	豆板	桁床版
(2)	0.05	0.08	0.03	0.004	0.0001	"	"
(3)	0.04	0.10	0.03	0.004	0.0001	剥離	"
(4)	0.04	0.20	0.03	0.008	0.0002	"	"
合計				0.041	0.0012		

() 断面修復(欠損・木片) 数量計算表

番号	長さ(m)	幅(m)	奥行き	面積	体積	部位
A	0.05	0.15	0.03	0.008	0.0002	親柱
B	0.15	0.06	0.03	0.009	0.0003	"
C	0.15	0.05	0.03	0.008	0.0002	"
D	0.10	0.20	0.03	0.020	0.0006	"
合計				0.045	0.0013	

当初設計図面

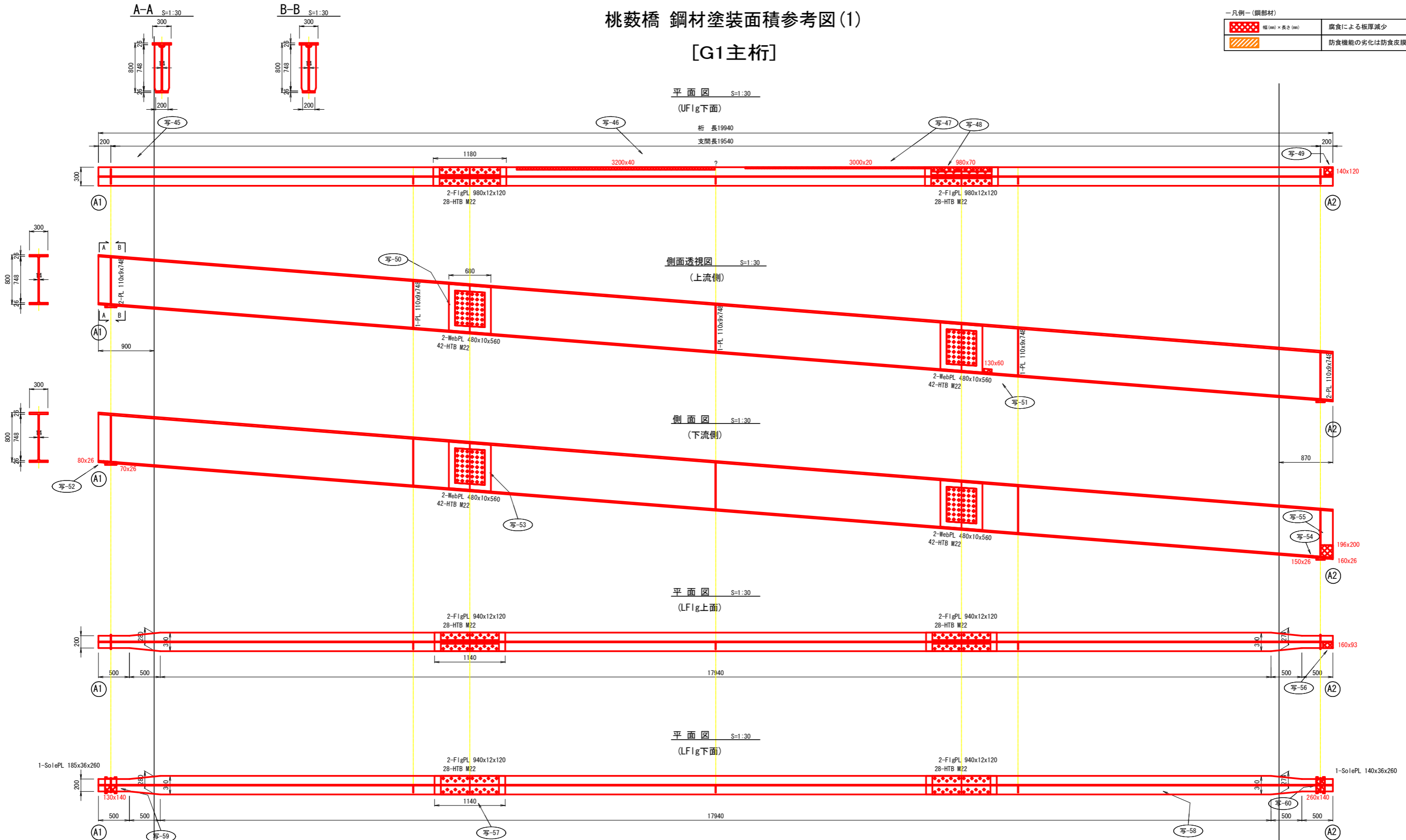
工事名	R6馬土 中野木屋平線(桃藪橋) 美・木屋平太台 橋梁修繕工事(図1手続保証)		
路線名等	(一) 中野木屋平線 (桃藪橋)		
工事箇所	美馬市木屋平太台		
図面名	補修詳細図(3)		
縮尺	図示	図面番号	6 / 15
会社名			
事業者名	西部総合県民局長県土整備部<美馬>		

桃藪橋 鋼材塗装面積参考図(1)

[G1主桁]

—凡例— (鋼部材)

	腐食による板厚減少
	防食機能の劣化は防食皮膜の劣化



U-F1g : ボルト、ナットの側面積 : $A=0.021 \times 6 \times (0.014 + 0.006) = 0.0025 \text{ (m}^2\text{) / 本}$
 Web : ボルト、ナットの側面積 : $A=0.021 \times 6 \times (0.014 + 0.022 + 0.006 \times 2) = 0.0060 \text{ (m}^2\text{) / 本}$
 L-F1g : ボルト、ナットの側面積 : $A=0.021 \times 6 \times (0.014 + 0.022 + 0.006 \times 2) = 0.0060 \text{ (m}^2\text{) / 本}$

ボルト本数 : $N=28 \times 2$ (主桁当り) $\times 3=168$ (本)
 ボルト本数 : $N=42 \times 2$ (主桁当り) $\times 3=252$ (本)
 ボルト本数 : $N=28 \times 2$ (主桁当り) $\times 3=168$ (本)

当初設計図面

工事名	R6馬土 中野木屋平線(桃藪橋) 美・木屋平太台 橋梁修繕工事(図1) (手続保証)		
路線名等	(一) 中野木屋平線 (桃藪橋)		
工事箇所	美馬市木屋平太台		
図面名	鋼材塗装面積参考図(1) G1主桁		
縮尺	1:30	図面番号	7 / 15
会社名			
事業者名	西部総合県民局長県土整備部<美馬>		

注) 構造図等は、メジャー等を使った簡易計測結果を元に作成した。

桃藪橋 鋼材塗装面積参考図(2)

[G2主桁]

—凡例— (鋼部材)

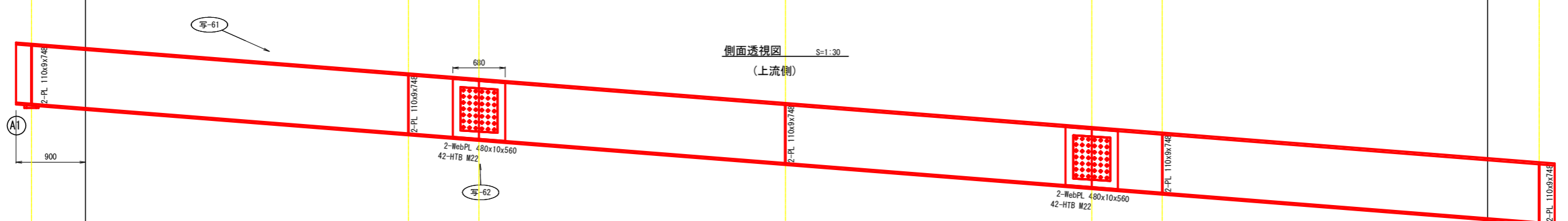
	腐食による板厚減少
	防食機能の劣化は防食皮膜の劣化

平面図 S=1:30
(UF1g下面)

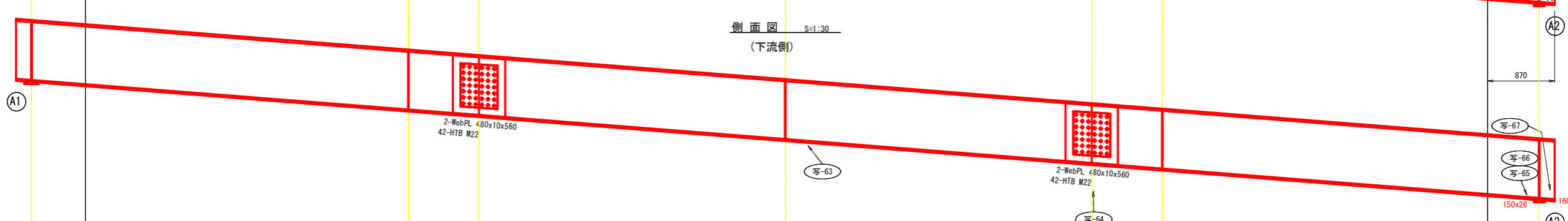
桁長19940
支間長19540



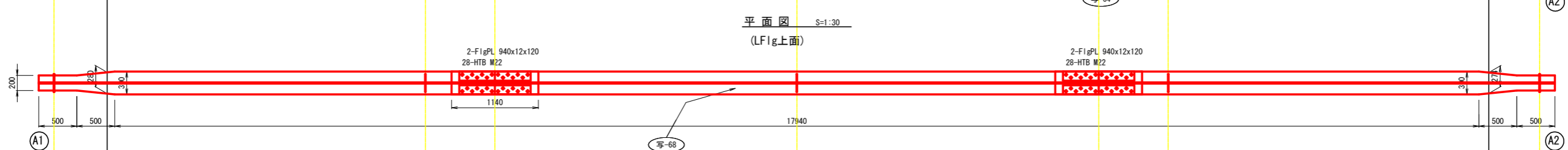
側面透視図 S=1:30
(上流側)



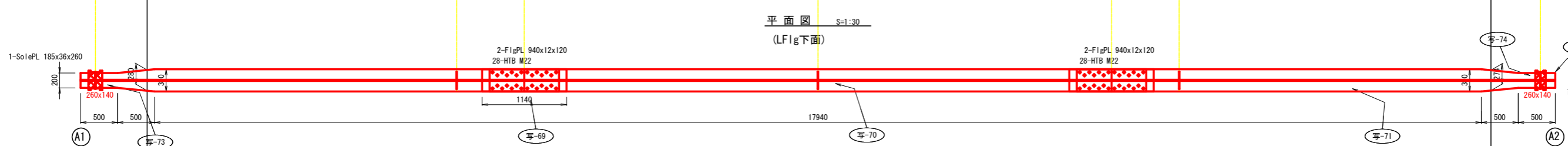
側面図 S=1:30
(下流側)



平面図 S=1:30
(LF1g上面)



平面図 S=1:30
(LF1g下面)



当初設計図面

※鋼部材全体に表面錆・防食機能の劣化あり

注) 構造図等は、メジャー等を使った簡易計測結果を元に作成した。

工事名	R6馬土 中野木屋平線(桃藪橋) 美・木屋平太合 橋梁修繕工事(図) (手続保留)		
路線名等	(一) 中野木屋平線 (桃藪橋)		
工事箇所	美馬市木屋平太合		
図面名	鋼材塗装面積参考図(2) G2主桁		
縮尺	1:30	図面番号	8 / 15
会社名			
事業者名	西部総合県民局長県土整備部<美馬>		

桃藪橋 鋼材塗装面積参考図(3)

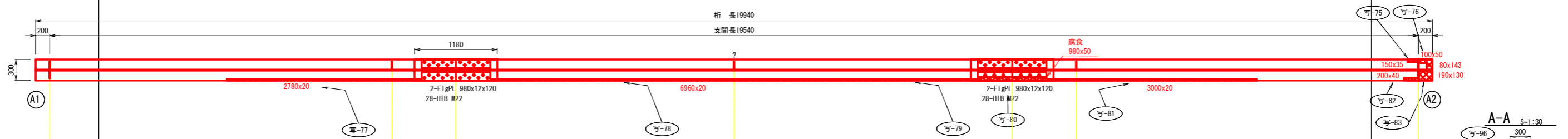
[G3主桁]

—凡例— (鋼部材)

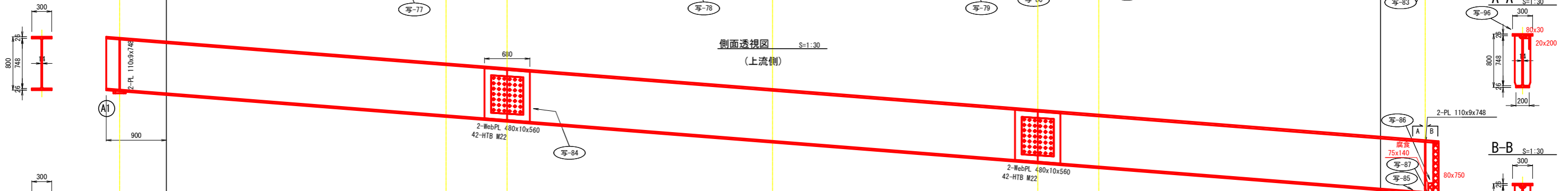
	腐食による板厚減少
	防食機能の劣化は防食皮膜の劣化

平面図 S=1:30
(UF1g下面)

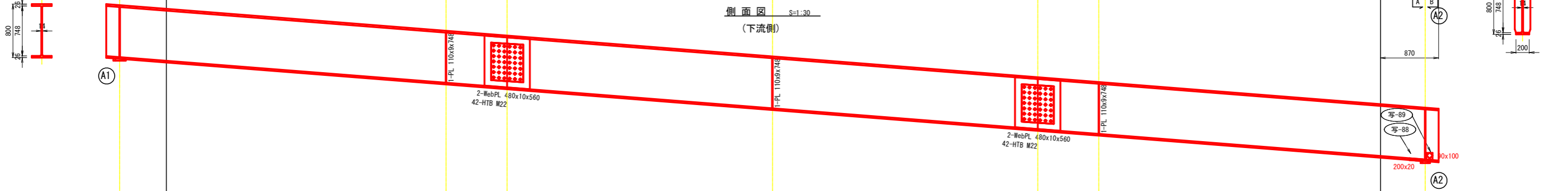
桁長19940
支間長19540



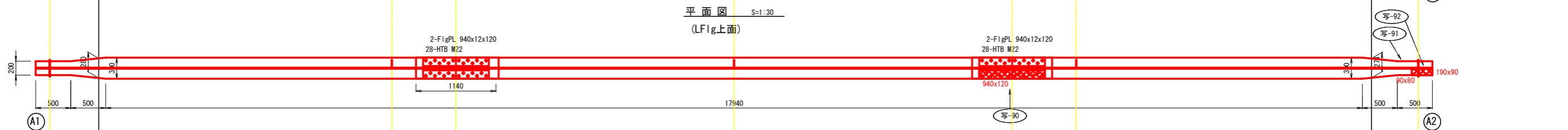
側面透視図 S=1:30
(上流側)



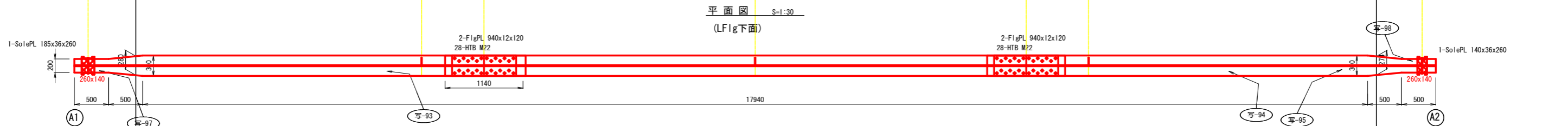
側面図 S=1:30
(下流側)



平面図 S=1:30
(LF1g上面)



平面図 S=1:30
(LF1g下面)



当初設計図面

※鋼部材全体に表面錆・防食機能の劣化あり

注) 構造図等は、メジャー等を使った簡易計測結果を元に作成した。

工事名	R6馬土 中野木屋平線(桃藪橋) 美・木屋平太台 橋梁修繕工事(図) (手続保証)		
路線名等	(一) 中野木屋平線 (桃藪橋)		
工事箇所	美馬市木屋平太台		
図面名	鋼材塗装面積参考図(3) G3主桁		
縮尺	1:30	図面番号	9 / 15
会社名			
事業者名	西部総合県民局長県土整備部<美馬>		

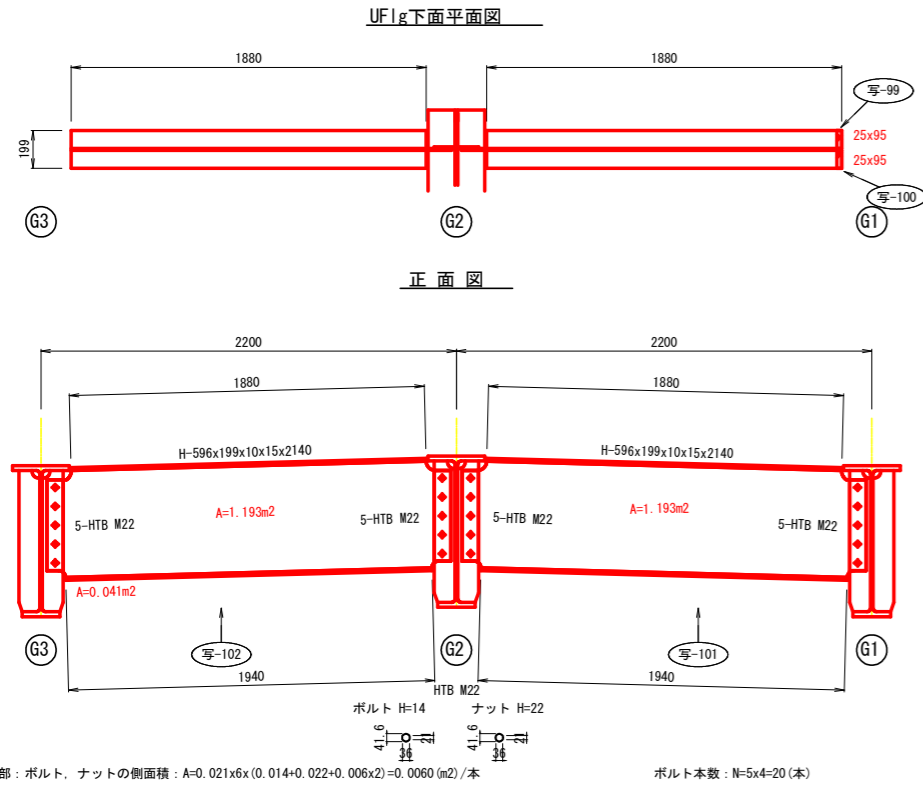
桃藪橋 鋼材塗装面積参考図(4)

[横桁]

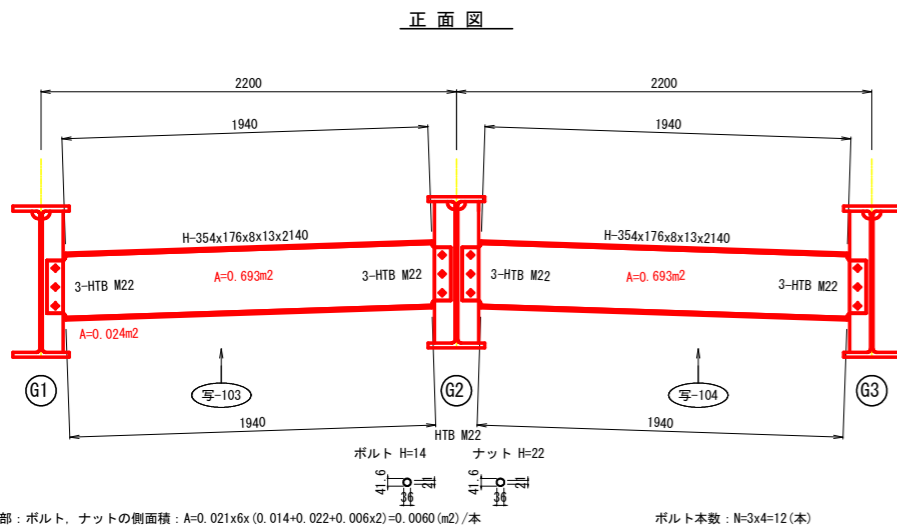
—凡例— (鋼部材)

	腐食による板厚減少
	防食機能の劣化は防食皮膜の劣化

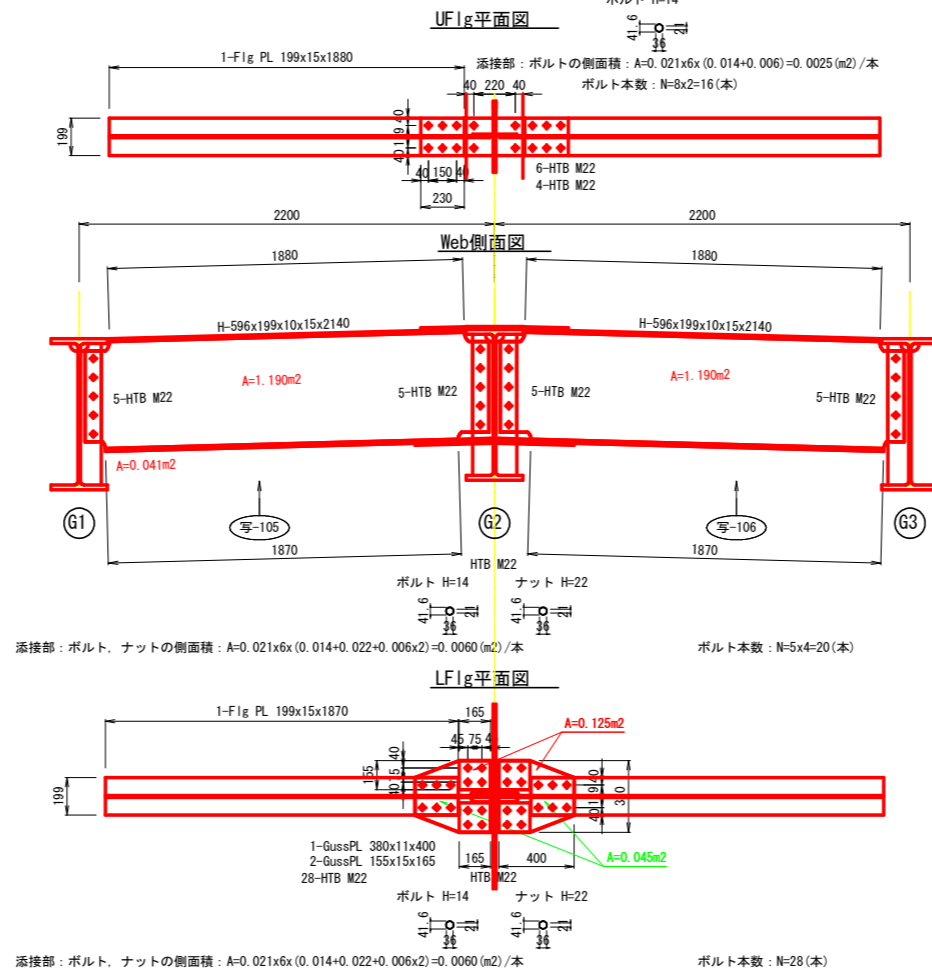
横桁 (Cr1) S=1:20



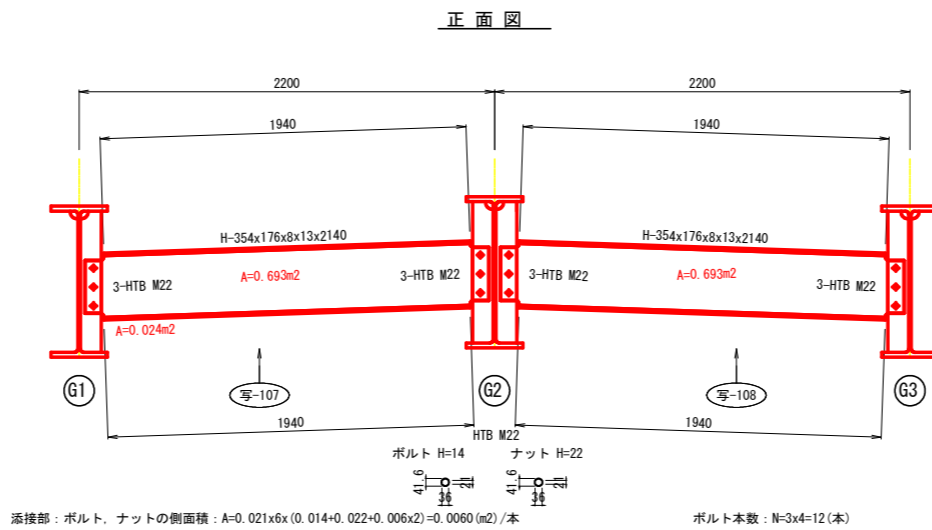
横桁 (Cr2) S=1:20



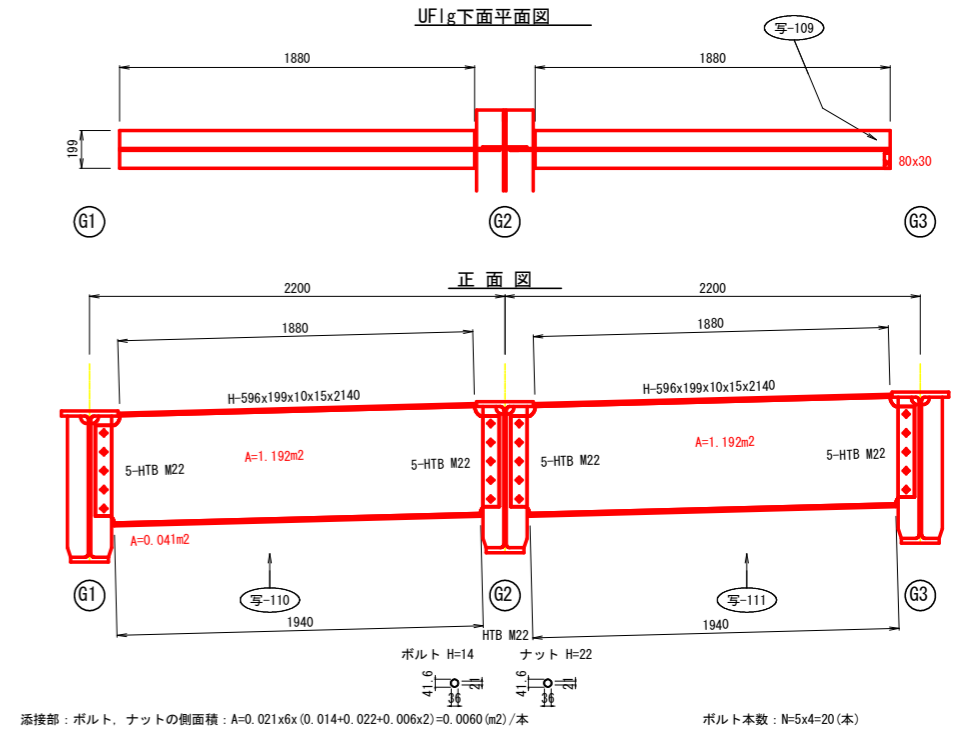
横桁 (Cr3) S=1:20



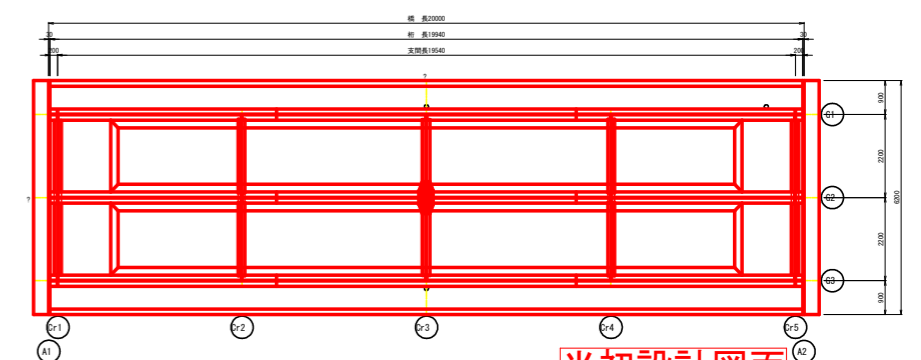
横桁 (Cr4) S=1:20



横桁 (Cr5) S=1:20



配置図



当初設計図面

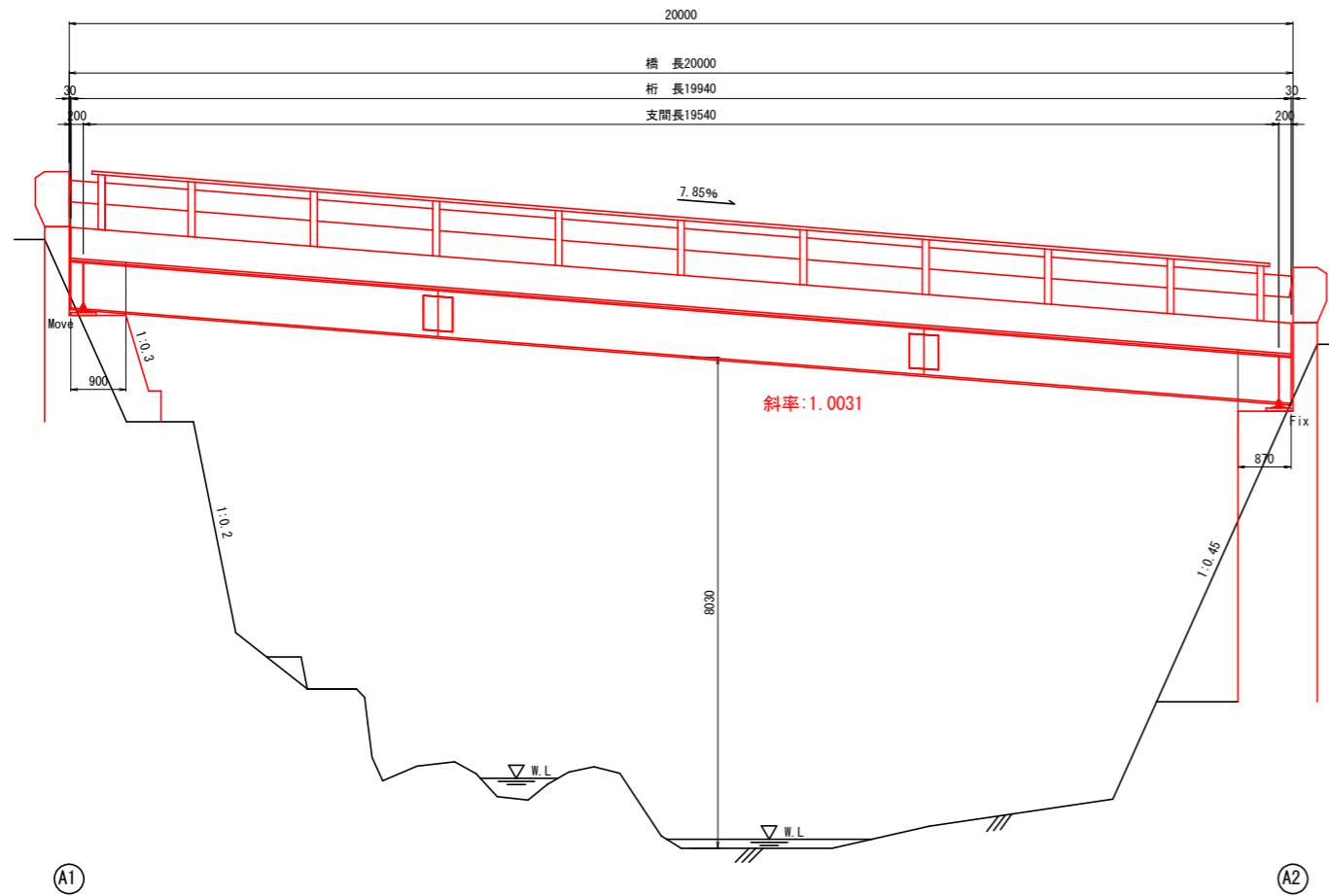
工事名	R6馬土 中野木屋平線(桃藪橋) 美・大屋平太台 橋梁修繕工事(図1)手続保証		
路線名等	(一) 中野木屋平線 (桃藪橋)		
工事箇所	美馬市木屋平太台		
図面名	鋼材塗装面積参考図(4) 横桁		
縮尺	1:20	図面番号	10 / 15
会社名			
事業者名	西部総合県民局長県土整備部<美馬>		

※鋼部材全体に表面錆・防食機能の劣化あり

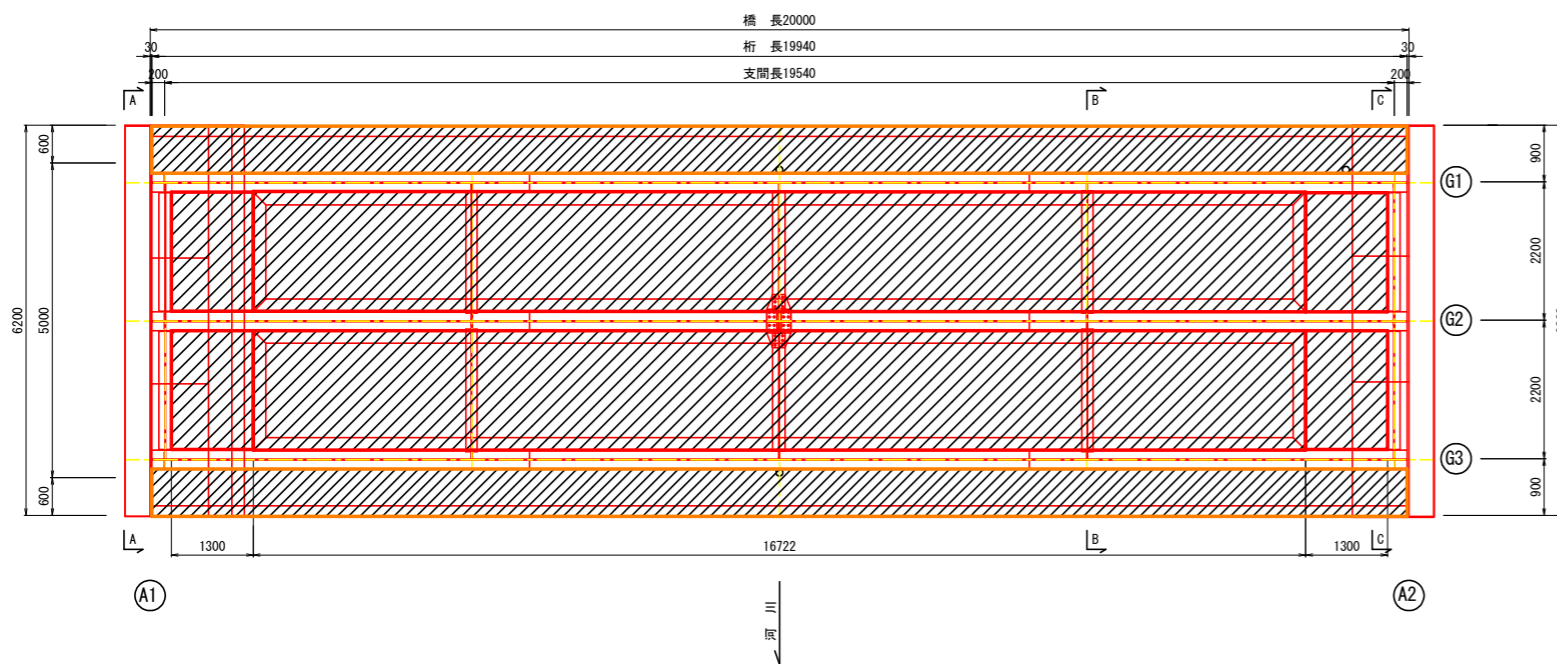
注) 構造図等は、メジャー等を使った簡易計測結果を元に作成した。

桃藪橋 表面保護工根拠図

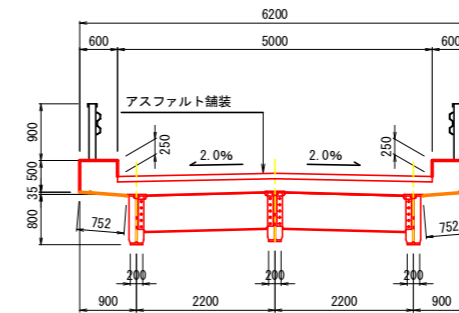
側面図 S=1:60



平面図 S=1:60

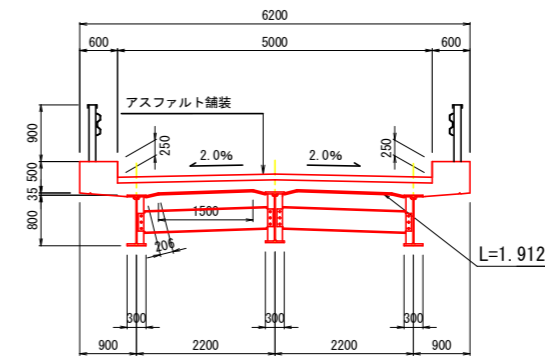


A-A S=1:60



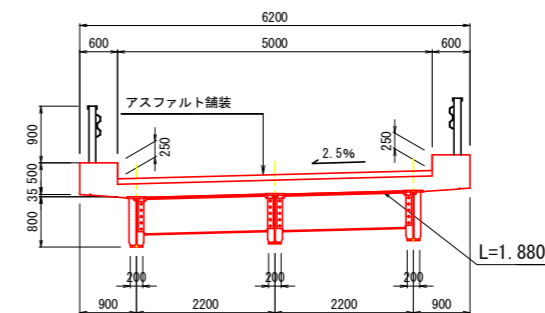
- 1 地覆 : $(0.250+0.600+0.500) \times 2 \times 19.940 \times 1.0031$ (斜率) = 54.00 (m²)
- 2 張出床版 : $0.752 \times 2 \times 19.940 \times 1.0031$ (斜率) = 30.08 (m²)

B-B S=1:60



- 3 床版 : $1.912 \times 2 \times 16.722 \times 1.0031$ (斜率) = 64.14 (m²)

C-C S=1:60



- 4 床版 : $1.880 \times 2 \times 1.300 \times 2 \times 1.0031$ (斜率) = 9.81 (m²)
- $\Sigma = 54.00 + 30.08 + 64.14 + 9.81 = 158.03$ (m²)

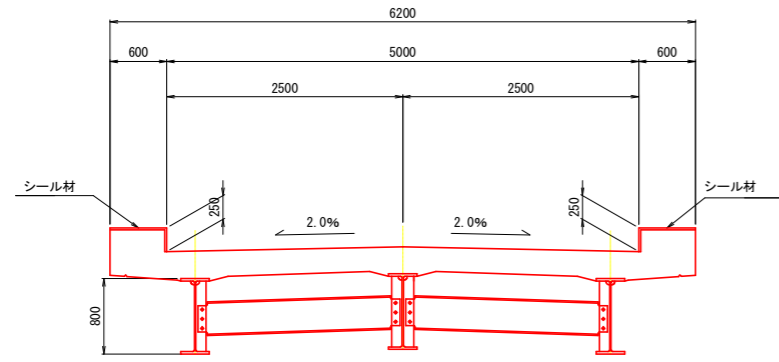
当初設計図面

工事名	群馬 中野木屋平線(後継) 美・木屋平太合 橋梁修繕工事(手続保証)		
路線名等	(一) 中野木屋平線 (桃藪橋)		
工事箇所	美馬市木屋平太合		
図面名	表面保護工根拠図		
縮尺	1:60	図面番号	11 / 15
会社名			
事業者名	西部総合県民局長県土整備部<美馬>		

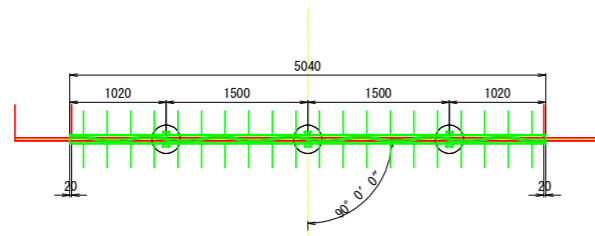
注) 構造図等は、メジャー等を使った簡易計測結果を元に作成した。

伸縮継手詳細図

断面図 S=1:40

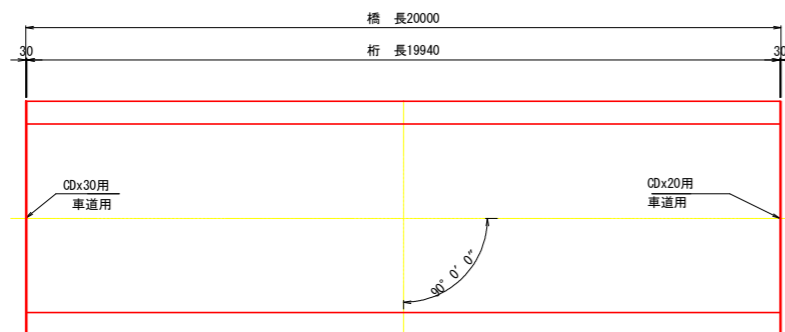


平面図 S=1:40



※ ○部は、パッキンに接着剤を塗布し接合すること。
また、指定範囲に溶接を施すこと。

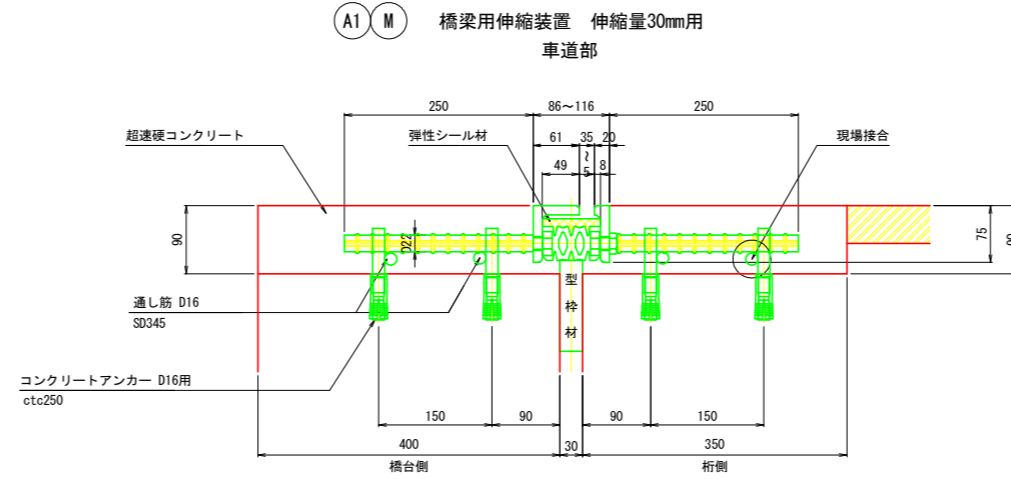
位置図 S=1:100



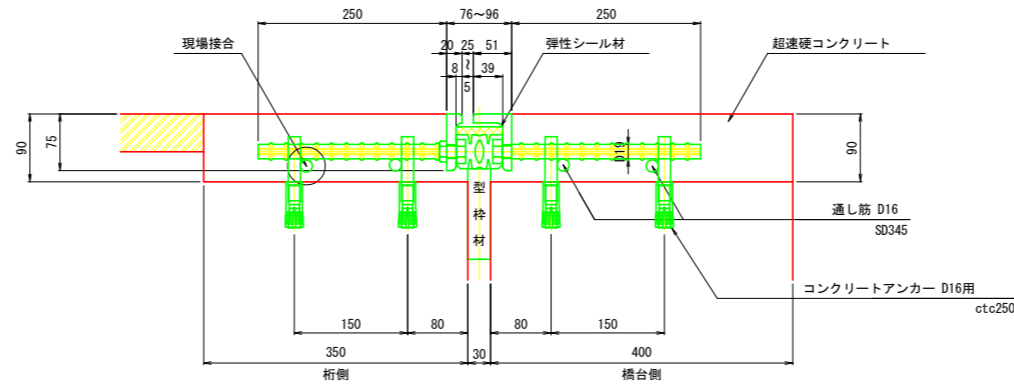
A1 M

A2 F

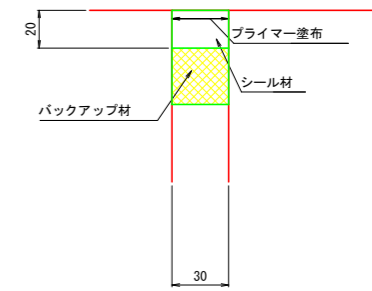
伸縮装置断面図 S=1:5



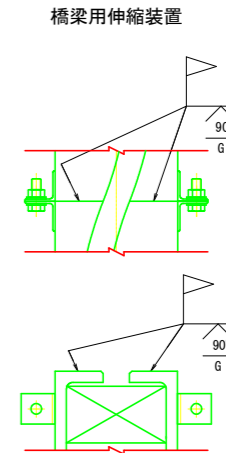
伸縮装置断面図 S=1:5



シール材充填図 S=1:2



現場接合部詳細



伸縮継手材料表

名称	材質	A1数量	A2数量	合計数量	備考
橋梁用伸縮装置 伸縮量30mm	SS400 合成ゴム SD345 弾性シール材	5.040 m		5.040 m	車道用
橋梁用伸縮装置 伸縮量20mm	〃		5.040 m	5.040 m	〃
シール材	シリコン系	1.02 リットル	1.02 リットル	2.04 リットル	
超速硬コンクリート		0.338 m ³	0.338 m ³	0.676 m ³	
通し筋	SD345	4 本	4 本	8 本	D16x5000
コンクリートアンカー	---	80 本	80 本	160 本	D16用
接着剤	---	1 組		1 組	30用
〃	---		1 組	1 組	20用

注) 伸縮装置長さは、現地測量後決定のこと。

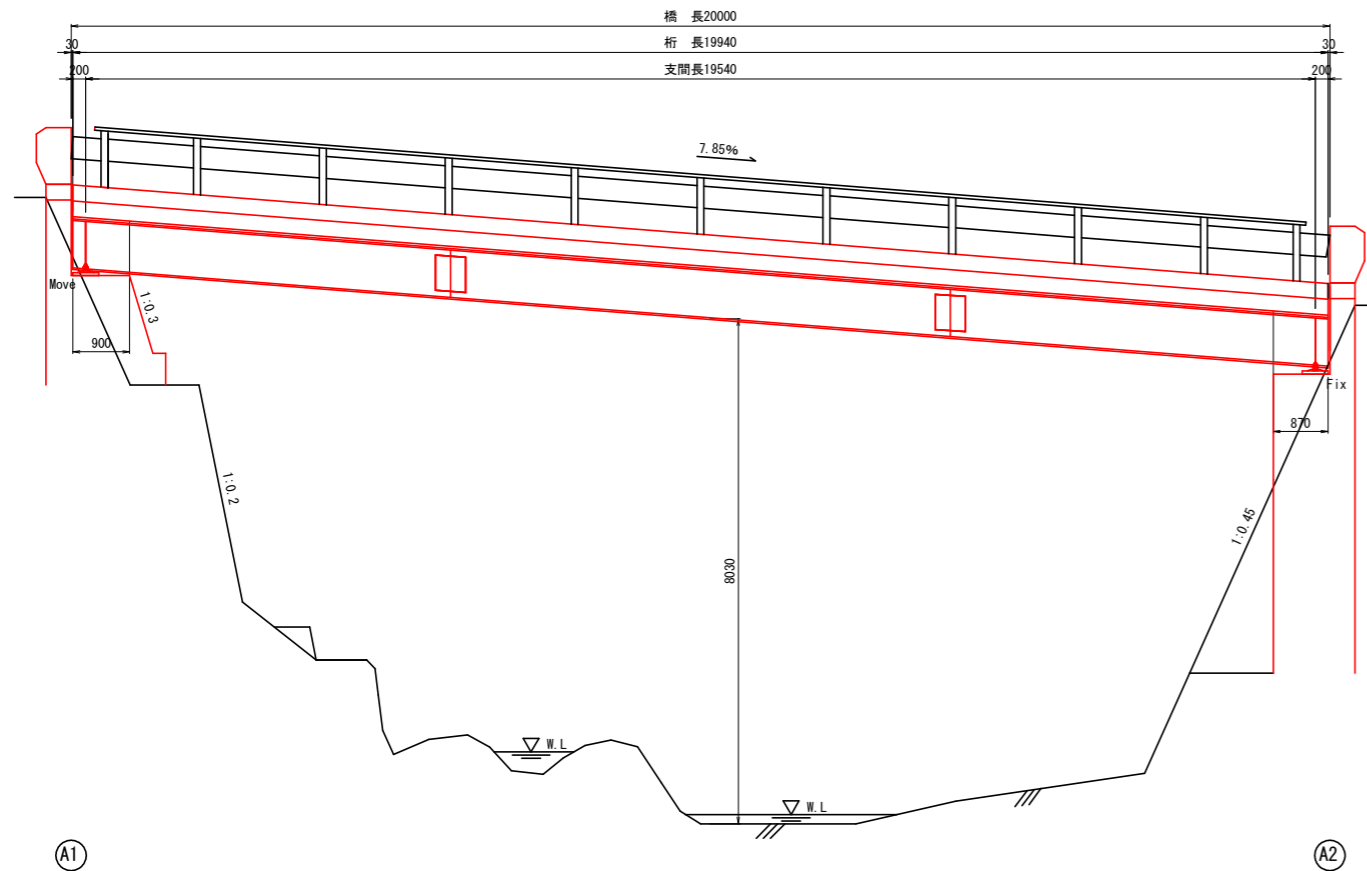
当初設計図面

工事名	R6馬土 中野木屋平線(橋敷橋) 美・木屋平太台 橋梁修繕工事(図1手続保証)		
路線名等	(一) 中野木屋平線 (橋敷橋)		
工事箇所	美馬市木屋平太台		
図面名	伸縮継手詳細図		
縮尺	図示	図面番号	12 / 15
会社名			
事業者名	西部総合県民局長県土整備部<美馬>		

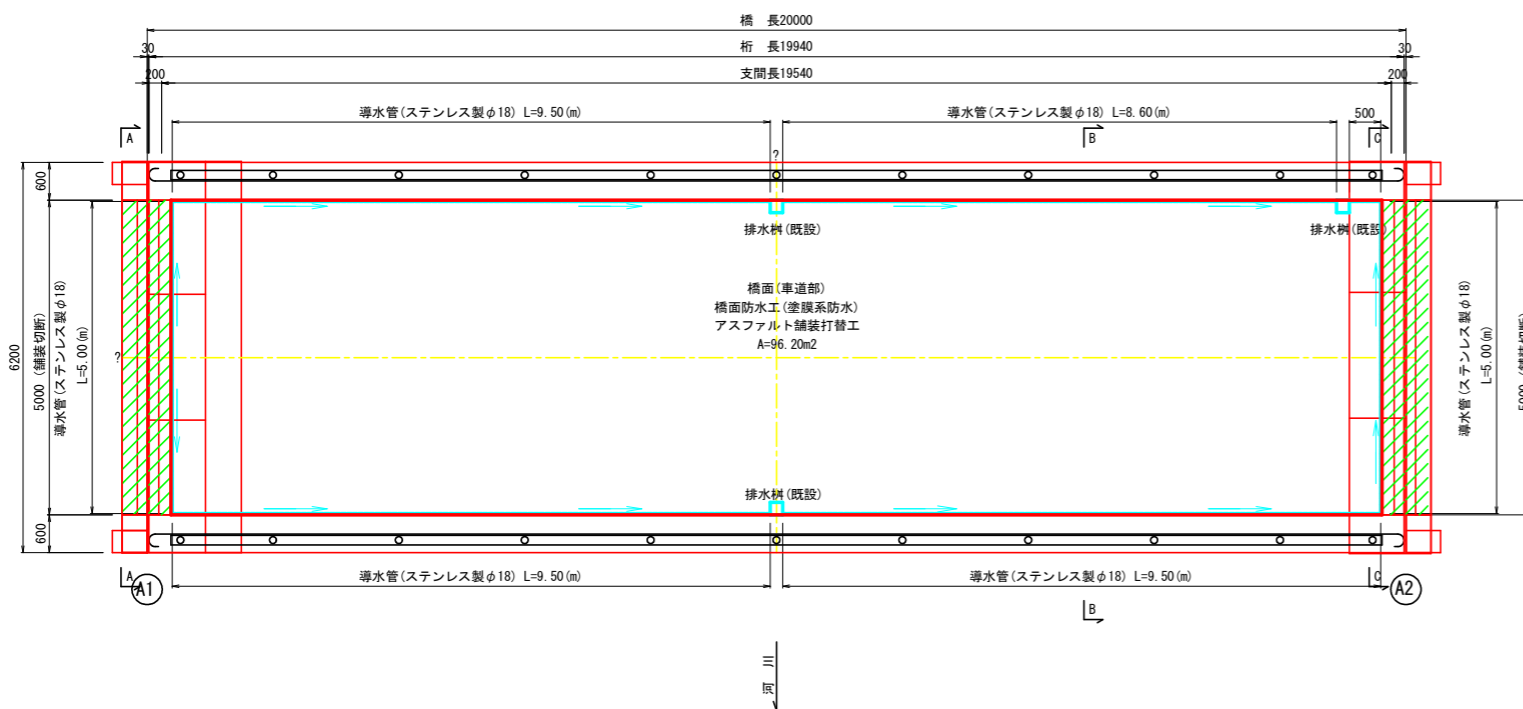
注) 構造図等は、メジャー等を使った簡易計測結果を元に作成した。

桃藪橋 橋面防水工／舗装打替え詳細図

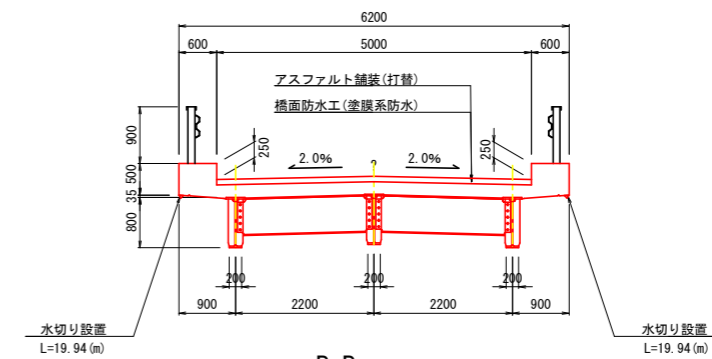
側面図 S=1:60



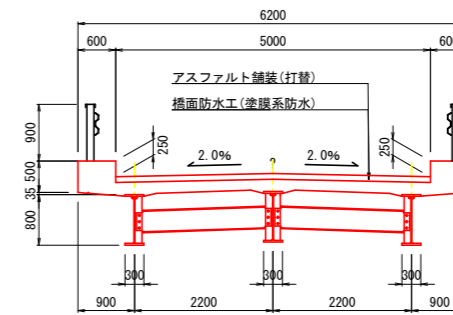
平面図 S=1:60



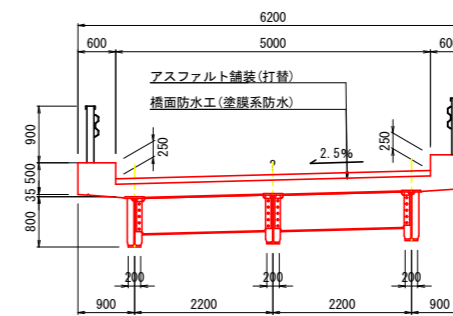
A-A S=1:60



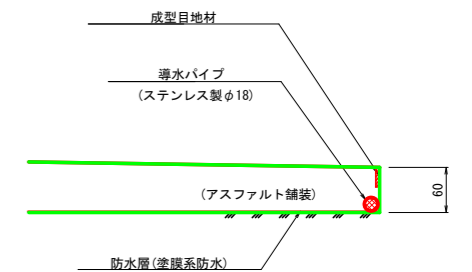
B-B S=1:60



C-C S=1:60



導水パイプ設置図 S=1:5 (参考図)



橋面防水工／舗装打替え工 材料表

名称	仕様	単位	数量	摘要
導水管	ステンレス製φ18	m	47.60	車道部
成型目地材	5mm×30mm	㎡	37.6	地覆
アスファルト舗装切替工	5.00(m)×2	m	10.00	車道部
アスファルト舗装撤去工	96.20(m ²)×0.06	m ³	5.77	車道部
アスファルト舗装表層工	再生粗粒度アスコン: t=30mm	m ²	96.20	車道部
アスファルト舗装基層工	再生粗粒度アスコン: t=30mm	m ²	96.20	車道部
橋面防水工	塗膜系	m ²	96.20	車道部
水切り工	EPDM系ゴム	m	39.88	

(1.0橋当り)

注) 構造図等は、メジャー等を使った簡易計測結果を元に作成した。

当初設計図面

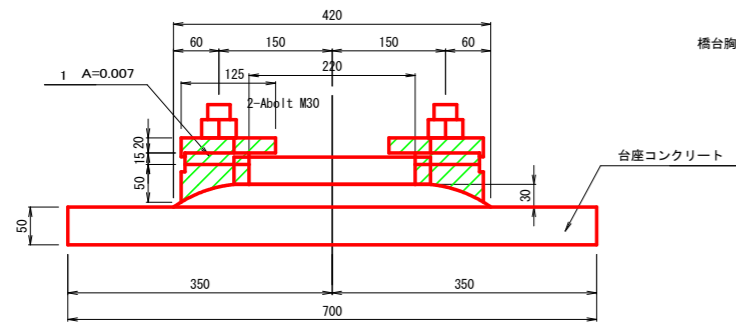
工事名	R6馬土 中野木屋平線(桃藪橋) 美・木屋平太台 橋梁修繕工事(図) (手続保留)		
路線名等	(一) 中野木屋平線 (桃藪橋)		
工事箇所	美馬市木屋平太台		
図面名	橋面防水工／舗装打替工詳細図		
縮尺	図示	図面番号	13 / 15
会社名			
事業者名	西部総合県民局長県土整備部<美馬>		

桃藪橋 支承補修図

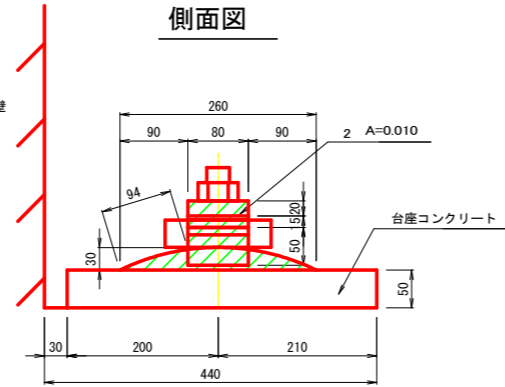
支承部 (A1・可動) S=1:5

支承部 (A2・固定) S=1:5

正面図



側面図



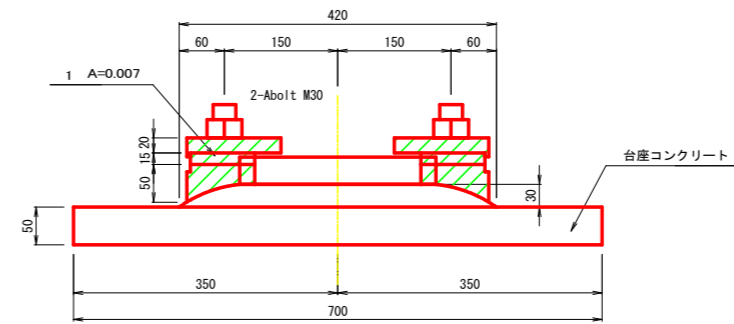
上面 : $1/2 \times (0.080 + 0.100) \times 0.125 \times 2 = 0.023$
 側面1 : $0.007 \times 2 \times 2 = 0.028$
 $\Sigma A1-1 = 0.051 \text{ (m}^2\text{)}$

上面 : $0.094 \times 1/2 \times (0.220 + 0.420) \times 2 = 0.060$
 側面2 : $0.010 \times 2 = 0.020$
 $\Sigma A1-2 = 0.080 \text{ (m}^2\text{)}$

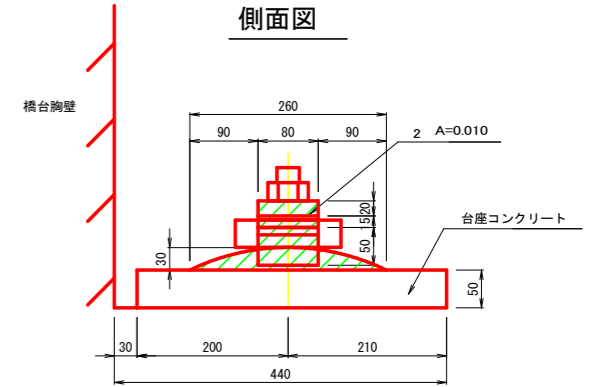
A1橋台支承鋼材塗装面積合計
 $\Sigma A1 = (0.051 + 0.080 + 0.054) \times 3 \text{箇所} = 0.555 \text{ (m}^2\text{)}$

支承鋼材塗装面積合計
 $\Sigma A = 0.555 + 0.546 = 1.101 \text{ (m}^2\text{)}$

正面図



側面図

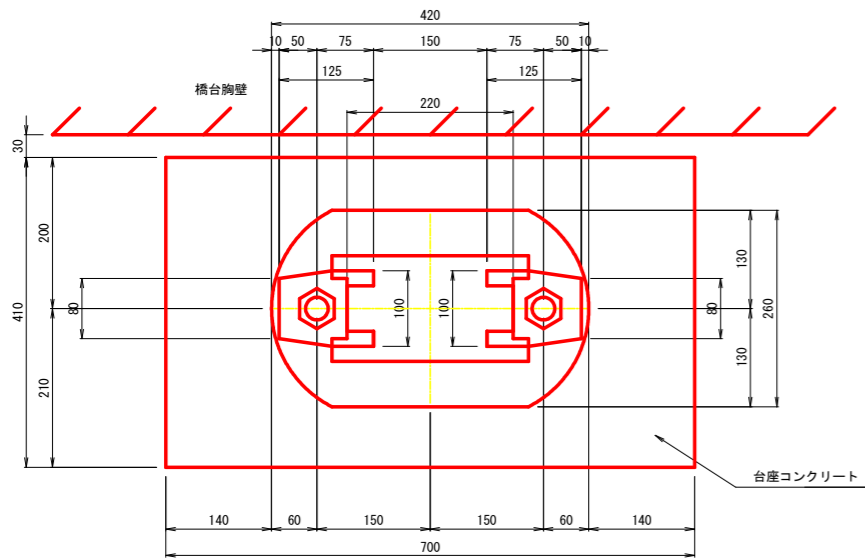


上面 : $0.080 \times 0.125 \times 2 = 0.020$
 側面1 : $0.007 \times 2 \times 2 = 0.028$
 $\Sigma A2-1 = 0.048 \text{ (m}^2\text{)}$

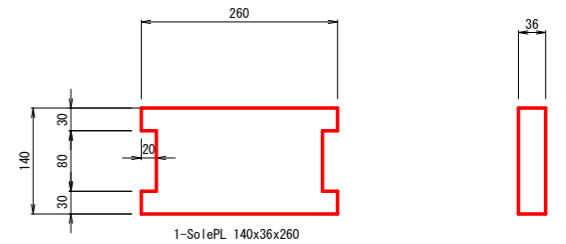
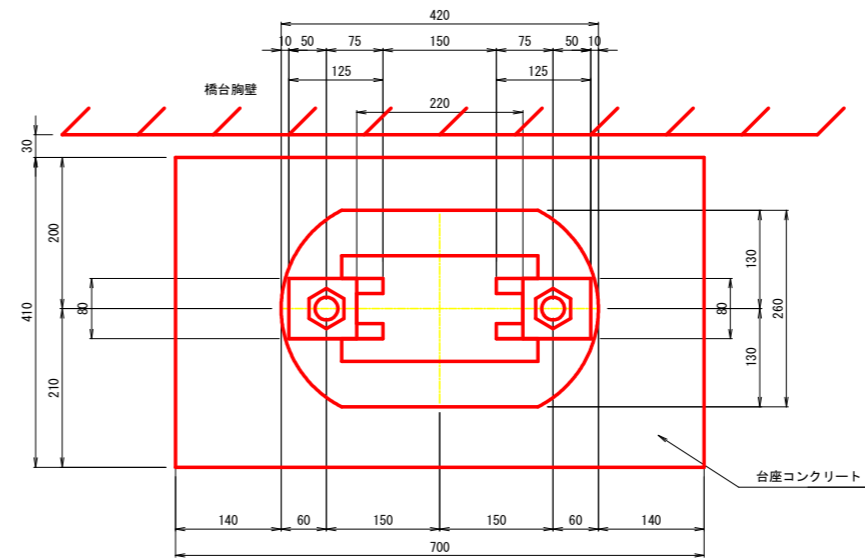
上面 : $0.094 \times 1/2 \times (0.220 + 0.420) \times 2 = 0.060$
 側面2 : $0.010 \times 2 = 0.020$
 $\Sigma A2-2 = 0.080 \text{ (m}^2\text{)}$

A2橋台支承鋼材塗装面積合計
 $\Sigma A2 = (0.048 + 0.080 + 0.054) \times 3 \text{箇所} = 0.546 \text{ (m}^2\text{)}$

平面図

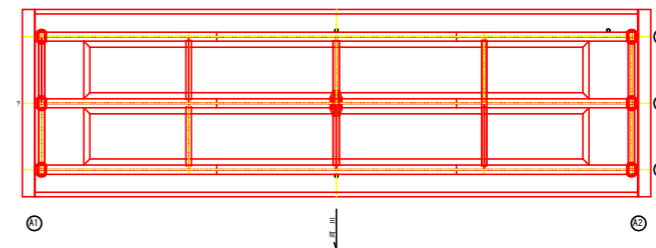


平面図



上下面 : $0.030 \times 0.260 \times 2 \times 2 = 0.031$
 側面1 : $(0.030 \times 4 + 0.260 \times 2) \times 0.036 = 0.023$
 $\Sigma A = 0.054 \text{ (m}^2\text{)}$

配置図



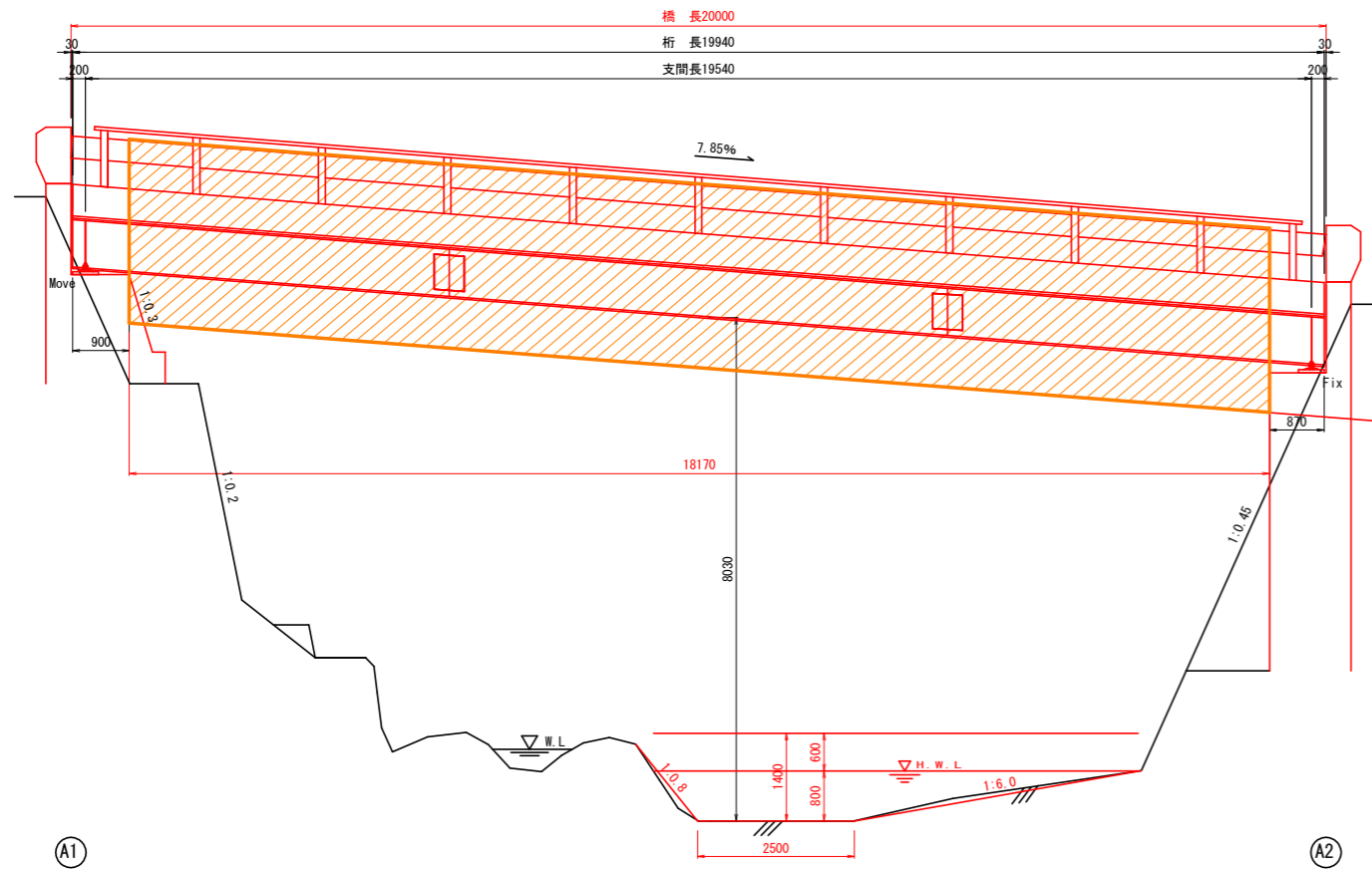
注) 構造図等は、メジャー等を使った簡易計測結果を元に作成した。

当初設計図面

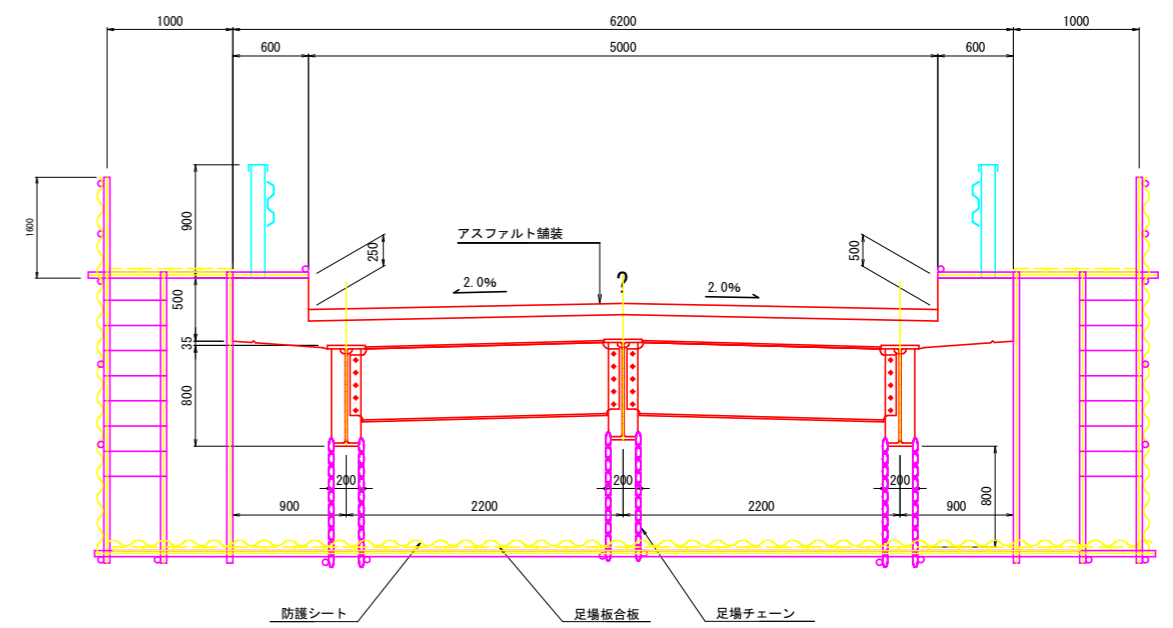
工事名	06馬土 中野木屋平線(桃藪橋) 美・木屋平太台 橋梁補修工事(図) (手続保証)		
路線名等	(一) 中野木屋平線 (桃藪橋)		
工事箇所	美馬市木屋平太台		
図面名	支承補修図		
縮尺	図示	図面番号	14 / 15
会社名			
事業者名	西部総合県民局長県土整備部<美馬>		

桃藪橋 足場工計画図(案)

側面図 S=1:60

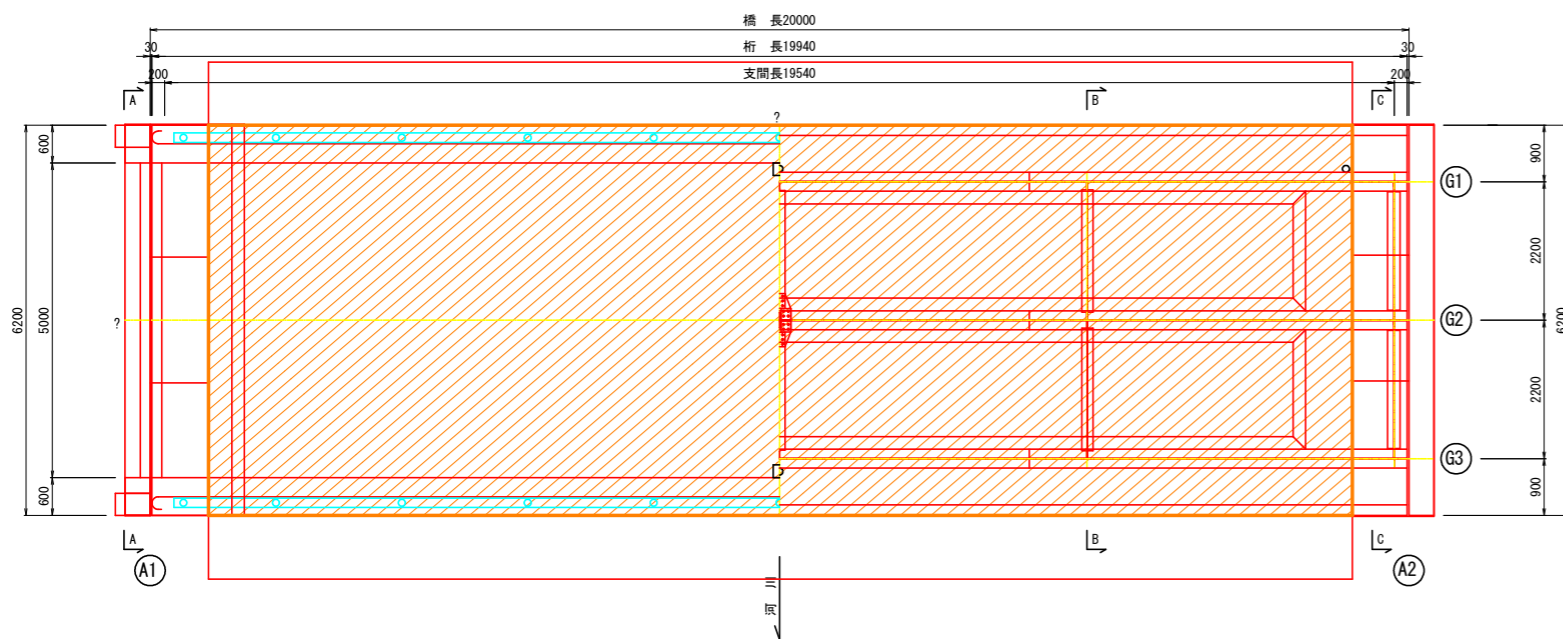


A-A S=1:60



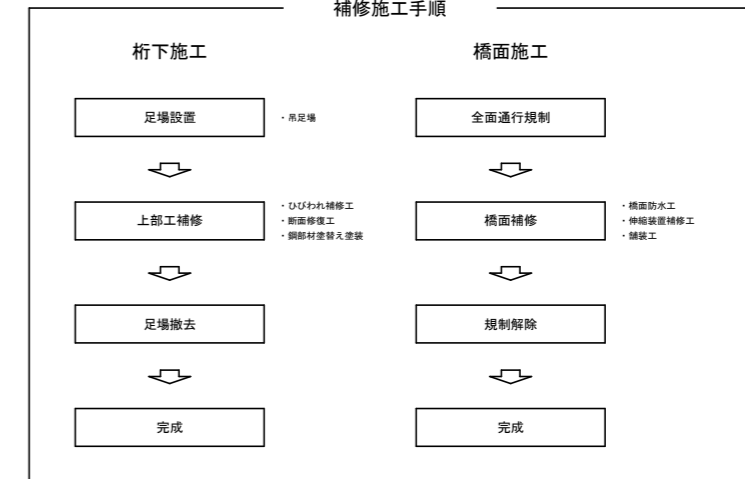
吊り足場設置面積：(6.20+1.00x2)x18.17 ≒ 149(m²)

平面図 S=1:60



足場占用面積：(6.20+1.00x2)x18.17 ≒ 149(m²)

補修施工手順



当初設計図面

工事名	06馬土 中野木屋平線(桃藪橋) 美・木屋平太台 橋梁修繕工事(図1)手続保証		
路線名等	(一) 中野木屋平線(桃藪橋)		
工事箇所	美馬市木屋平太台		
図面名	足場工参考図		
縮尺	1:60	図面番号	15 / 15
会社名			
事業者名	西部総合県民局長県土整備部<美馬>		

注) 構造図等は、メジャー等を使った簡易計測結果を元に作成した。